

Hadoopなどを活用した大量データ分散処理に対応する エントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」新モデル

日立は高集積・省電力のエントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」の新モデルとして、高性能のインテル® Xeon® プロセッサを採用し、ストレージ容量を従来モデル比で約2.3倍※1に拡張可能とした「HA8000-bd/BD10 X2モデル」をリリースしました。
急激な負荷変動への対応が要求されるクラウドプラットフォームやHadoop※2などを活用した大量データ分散処理など、幅広いニーズにお応えします。

※1 1ベースユニット(シャーン)あたりのストレージ容量における、2010年7月発売の従来モデル(最大20TB)と新モデル(2スロットブレード搭載時、最大45TB)の比較
※2 オープンソースソフトウェアコミュニティ「The Apache Software Foundation」にて開発・公開されている、大量データの効率的な分散処理を実現するソフトウェア基盤



ビッグデータ時代の要請に対応する 「HA8000-bd/BD10 X2モデル」

クラウドコンピューティングの進展や多機能情報端末の急速な普及を背景に、企業や社会活動で発生するデータが爆発的に増加しています。データセンターやコンテンツ配信事業者では、こうしたデータの規模化に対応するため、より高性能かつ大容量のサーバを、省スペース・低消費電力で効率的に設置するニーズが高まっています。

また、Webアクセスログやメール、画像や動画、POSデータなど、IT利用の多様化で増え続けるビッグデータへの対応を図るため、多数のサーバを並列したHadoopなどを活用してデータを効率よく処理する分散処理システムへの関心も高まってきました。

そこで日立は、高い集積度と省電力性を誇るエントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」(以下、HA8000-bd)に、プロセッサ性能とストレージ容量を一段と強化した新モデル「HA8000-bd/BD10 X2モデル」(以下、X2モデル)を導入。Hadoopなどに適した、シンプルで柔軟性に優れたスケールアウト機能をもつシステムを省スペースに構築していただけます。同時にHA8000-bdを用いてHadoopを導入するお客さまを対象とした新サービス「インストールサービス for Hadoop」[プラットフォーム設定サービス for Hadoop]の提供も開始しました。

「HA8000-bd/BD10 X2モデル」の主な特長

■インテル® Xeon® プロセッサで処理性能を強化

X2モデルでは、インテル® Coreプロセッサに加えて、より高性能なインテル® Xeon® プロセッサを採用したサーバブレードを新たに提供します。従来モデルと同様、42Uラック1台に最大320台のサーバブレードを搭載可能で、インテル® Xeon® プロセッサを搭載したブレードサーバとして業界最高クラスの集積度※3を実現しています。

また、ECC(Error Check and Correct)機能付きのDDR3メモリーを1サーバブレードあたり最大16GBまで搭載することが可能です。

※3 2012年2月6日時点(日立調べ)1スロットブレードの場合

■高い省電力性を実現

サーバブレードは運用時31W※4の低消費電力で動作。80PLUS® GOLD認証電源の採用や、サーバブレードの稼働状態に応じた電源制御機能などにより、高い省電力性を実現。特にデータセンターで求められるシステム全体の省電力化に貢献します。

※4 インテル® Xeon® プロセッサE3-1220L搭載の1スロットブレード40台をHA8000-bd用5Uベースユニットに搭載した場合の1台あたりの消費電力の目安。実際の消費電力はブレードの構成により異なります。

■従来モデル比約2.3倍の大容量HDDを搭載可能

通常の1スロットブレードの2倍のスロット幅に、3台の2.5型HDDを搭載した2スロットブ

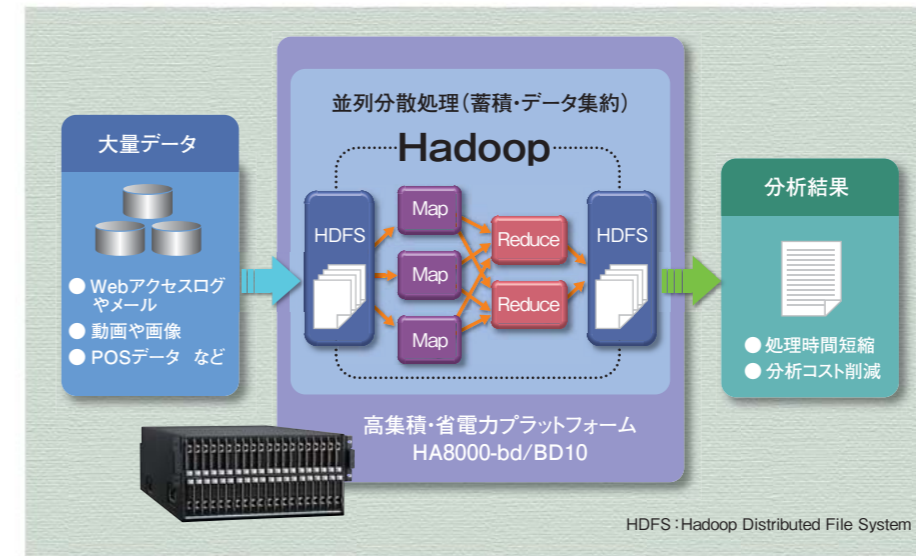


2スロットブレード(HDDを3台搭載)

レードを開発し、ラインアップに追加しました。本サーバブレードを採用することで、従来モデルと比較し1ベースユニットあたりのストレージ容量を約2.3倍の45TBに拡張可能です。これにより、従来モデルよりもラック1台あたりのストレージ容量を拡張することができ、データ格納の集積度が向上します。

■容易かつ細やかなスケールアウトに対応

ベースユニット内にサーバブレードを追加搭載することで、システム負荷の変化に対してスケールアウトで容易に対応可能(Linuxシステムの場合)。1ブレードあたり最大4コアというサーバブレードの利点を活かして小規模な単位でのスケール変更が可能のため、ハードウェア性能をフルに使いこなせるシステム構築を実現します。



大量データ分散処理のイメージ

■運用管理の容易化・省力化

ベースユニット背面のLANスイッチ(L3)経由の2ポートに加え、サーバブレード正面にもLANポートを搭載。これにより、正副冗長LANと管理用LANの3系統のネットワークを組むことが可能です。

Hadoop導入・構築支援サービスを提供開始

プロセッサ性能とストレージ容量の強化によ

り、HA8000-bdはHadoopなどを活用した大量データ分散処理のシステム基盤として、より幅広い分野での活用が可能となりました。そこでHadoopを導入されるお客さまに対し、「インストールサービス for Hadoop」と「プラットフォーム設定サービス for Hadoop」の提供を開始します。

■インストールサービス for Hadoop

Hadoopシステムに必要なOS(Linux)、Apache Hadoop、Java SDK(Software Development Kit)を標準設定でインストー

ルします。サーバ台数が多くなるHadoop環境の構築に必要な作業を事前に実施するため、導入の手間を軽減できます。

■プラットフォーム設定サービス for Hadoop

Hadoopマスターノードとスレーブノードが動作するための各種パラメータ設定を実施。導入後、業務運用開始までの期間を短縮できます。

ビッグデータのビジネス利活用を支援する「HA8000-bd Hadoop Partnership プログラム」

HA8000-bdを活用したHadoop関連ソリューションの強化に向け、日立はHadoop環境で使用されるミドルウェア、アプリケーション、ソリューションを提供する企業を対象に、「HA8000-bd Hadoop Partnership プログラム」を発足します。パートナー各社との共同マーケティングを推進するほか、パートナー各社がHA8000-bdと各社製品をHadoop環境で組み合わせた際の動作検証を行えるサービスを提供します。これにより、HA8000-bdをシステム基盤としたHadoop関連ソリューションの開発やシステム構築を支援し、大量データのビジネスへの利活用を共同推進します。

パートナーとの連携

- ビッグデータ分析にとどまらず、多様なアプリケーション/ソリューションベンダーと提携
- パートナーとの相互補完でHadoopのビジネス利用を拡大

分野	ソリューション	パートナー	概要
業務バッチ高速化	Asakusa Framework	ノーチラス・テクノロジーズ	業務システムのバッチ処理を高速化
ビジネスインテリジェンス	QlikView	クリックテック・ジャパン/日立INSソフトウェア	ビッグデータの分析、可視化
クラウドでのHadoop基盤提供	Integrated Stack for Enterprise	クリエイションライン	HA8000-bdを動的に割り当てHadoopクラスタを構成
サーチ・アプリケーション	SMART/InSight	ウチダスペクトラム	Lucene/Solr連携によるビッグデータのサーチ分析、可視化
構築、SI	大量データ処理基盤構築サービス	日立ソリューションズ	構築簡単化/チューニング技術

Hadoopパートナーソリューション一覧

お問い合わせ先

HCAセンター
☎0120-2580-12
利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

■ 情報提供サイト

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd/>

● 製品仕様は改良のため変更することがあります。
● 他社登録商標
※ インテル、インテルCore、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。 ※ 80PLUSは、米国Eco Consulting Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。 ※ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
※ Red Hatは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標または商標です。